

## 2. ATWS2023 開催までの準備

### (1) 実施体制

#### ① 実行委員会の設立

ATWS の開催に向け、開催地として必要な準備及び支援を行うことを目的に、北海道、公益社団法人北海道観光振興機構、北海道運輸局、北海道経済産業局、札幌市、釧路市、経済界や観光業界などの関連団体などで構成する「アドベンチャートラベル・ワールドサミット 2021 北海道実行委員会」を令和2年（2020年）4月17日に設立した。

アドベンチャートラベル・ワールドサミット 2021 北海道実行委員会には重要な事項について議論する総会及び総会に付議すべき必要な事項の協議を行う幹事会を設けた。また顧問を置き、必要に応じて様々な視点から意見や助言を受けることとした。

令和3年（2021年）9月6日に開催した令和3年度第4回総会において、名称を「アドベンチャートラベル・ワールドサミット北海道実行委員会」に変更した。

#### ○委員

所 属	職 名	備 考
北海道	知事	会長
公益社団法人北海道観光振興機構	会長	筆頭副会長
札幌市	市長	副会長
釧路市	市長	副会長
帯広市	市長	副会長
稚内市	市長	副会長
旭川市	市長	副会長
国土交通省北海道運輸局	局長	副会長
経済産業省北海道経済産業局	局長	副会長
北海道経済連合会	会長	監事
北海道経済同友会	代表幹事	監事
一般社団法人北海道商工会議所連合会	会頭	
北海道商工会連合会	会長	
北海道アドベンチャートラベル協議会	会長	
一般社団法人北海道体験観光推進協議会	代表理事	
日本航空株式会社	執行役員 北海道支社長	
全日本空輸株式会社	札幌支店・支店長	
株式会社AIRDO	代表取締役社長	
北海道エアポート株式会社	代表取締役社長	
北海道旅客鉄道株式会社	代表取締役社長	
一般社団法人北海道バス協会	会長	

一般社団法人日本旅行業協会	北海道支部長	
一般社団法人全国旅行業協会	北海道支部長	

○顧問

所 属	職 名	備 考
観光庁	長官	
独立行政法人国際観光振興機構(JNTO)	理事長	
国土交通省北海道開発局	局長	
環境省北海道地方環境事務所	所長	
林野庁北海道森林管理局	局長	
国土交通省東京航空局	局長	

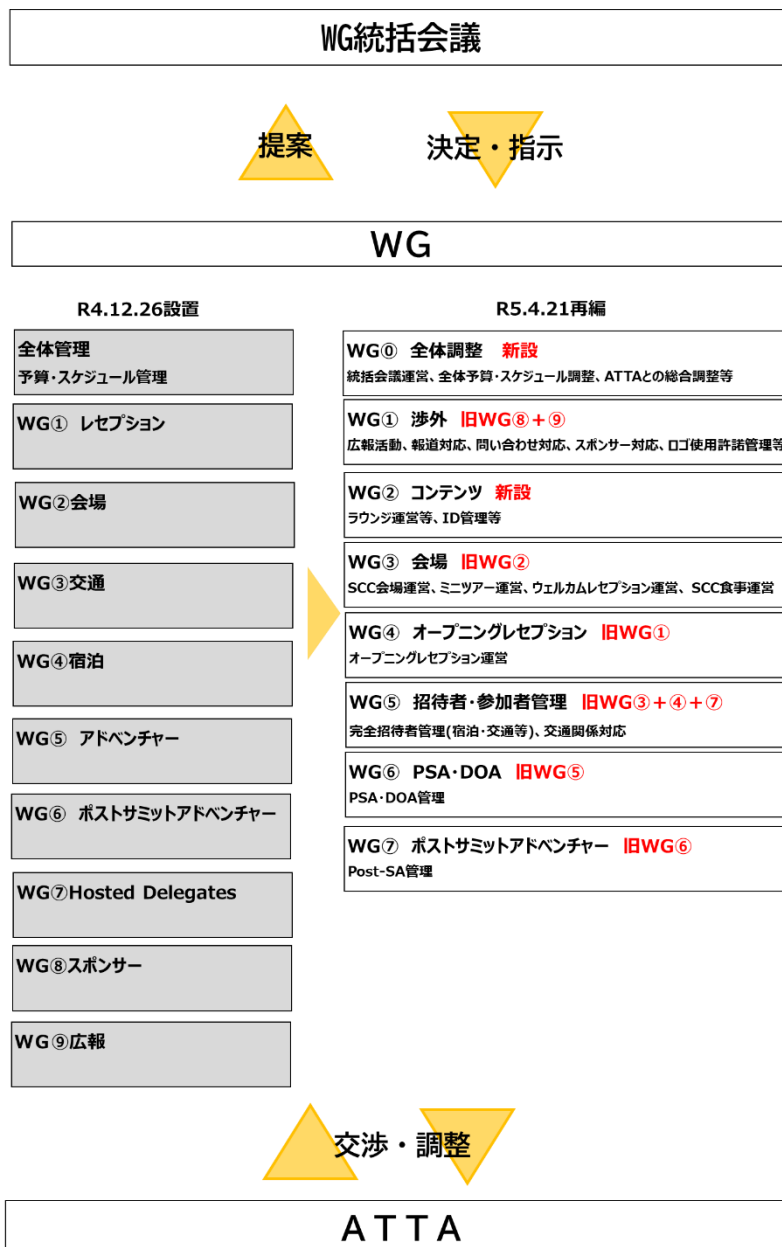
○幹事

所 属	職 名	備考
北海道	経済部観光局アドベンチャートラベル担当局長	幹事長
公益社団法人北海道観光振興機構	事務局長	
札幌市	経済観光局観光・MICE 推進部観光地域づくり担当部長	
釧路市	産業振興部観光振興担当部長	
帯広市	経済部観光交流室長	
稚内市	建設産業部長	
旭川市	観光スポーツ交流部長	
国土交通省北海道運輸局	観光部長	
経済産業省北海道経済産業局	総務企画部長	
北海道経済連合会	常務理事	
北海道経済同友会	専務理事事務局長	
一般社団法人北海道商工会議所連合会	常務理事	
北海道商工会連合会	専務理事	
北海道アドベンチャートラベル協議会	会長	
一般社団法人北海道体験観光推進協議会	専務理事	
日本航空株式会社	北海道支社事業部部長	
全日本空輸株式会社	札幌支店・支店長	
株式会社AIRDO	営業部長	
北海道エアポート株式会社	営業開発本部観光開発部部長	
北海道旅客鉄道株式会社	営業部インバウンドグループ課長	
一般社団法人北海道バス協会	常務理事	
一般社団法人日本旅行業協会	北海道事務局事務局長	
一般社団法人全国旅行業協会	北海道支部事務局長	

## ②実行委員会における業務遂行体制—WG・統括会議

令和4年(2022年)12月、ATWS2023開催に向けた準備を機動的かつ効果的に進めるため、業務ごとに9つのワーキンググループ(WG)とWG統括会議を設け、実行委員会事務局員(北海道、(公社)北海道観光振興機構、北海道運輸局、北海道経済産業局、札幌市等)を偏りなく配置した。その後、準備の進捗状況及び新たに増えた業務の内容を踏まえ、令和5年(2023年)4月21日にWGの再編を行った。

各WGは、所管する事業内容の検討、内外との調整、ATTAとの交渉などの実務を行い、WG統括会議では、各WGからの提案に基づく事業実施の意思決定及び各WGに対する指示を行った。また、ATTAアンバサダーである高田茂氏(鶴雅リゾート株式会社取締役 アドベンチャートラベル事業部長、(一社)日本アドベンチャーツーリズム協議会理事)をアドバイザーとして迎え、事業内容について助言を受けながら進めた。



## (2) イベント開催前の準備

### ①PSA コース選定

プレサミット・アドベンチャー (PSA) のコース選定については、令和2年(2020年)より、当初はATWS2021に向けて準備を開始した。道内コースにおいては、はじめに公募でPSA取扱ツアーオペレーター5社を選定し、PSAの募集を行った。コース選定にあたってはATTAより示されたツアー造成基準に従い、特に「ストーリー性」「サステナブル対応」「地域との関わり」に重点をおき、AT有識者を交えたメンバーによる審査を経て道内15コースを選定した。

道外コースにおいては各地域を管轄する広域連携DMOを窓口としてコースを募集し、道内コースと同様にATTAの定める基準に合致する7コースを選定した。その後、最終的にはATTAによる審査・承認を経て道内及び道外で全22コースのPSAが確定した。ATWS2021バーチャル開催を経て一部コースの行程変更を行い、改めてリアル開催となったATWS2023にてPSAとして催行した。

### PSA コース確定までの流れ

2020	6月	公募により道内PSA取扱旅行会社(5社)を選定
	10月	PSA募集(1次~3次審査)実行委員会にて道内15コースを選定
	12月	道外PSA募集(1次~2次審査)実行委員会にて道外7コースを選定
	12月	ATTAによるPSA22コースの審査開始
2021	3月	ATTAによりPSA22コースの審査承認
	9月	ATWS2021にてPSA22コースを映像で紹介(Virtual Adventure)
2022	4月	道内・道外各1コースの追加募集(採択済コースより辞退が発生したため)
	6月	道内PSA1コースを追加採択
	8月	道外PSA1コースを追加採択
	11月	PSA追加採択した2コースのATTAによる審査及び承認(ATWS2023で催行する全PSA22コースの確定)

### PSA コース選定時の審査項目

コースにおける地域ならではのストーリー/地域理解が深まるツアー設計か/コース上における文化施設や休憩所などの配置状況/ATTAの提唱する5つの体験価値への該当/環境への負荷を最小化するための取組/地元産品の活用や地域の雇用創出など地域経済への貢献するための工夫/ツアー商品として継続的に顧客に提供する体制の構築/個客の嗜好やスキルに応じた組み立てやオプションの設定状況/地域住民との交流など双方向性のある体験・アクティビティ/当該地域でしか体験できないユニークコンテンツ/アクティビティや体験におけるチャレンジングな要素の有無/全体の行程と内容、必要な携行品や装備、事前に取得すべき個客情報等の整備/免責事項を適切に整理し、顧客に説明することができるか/応急処置に関するスキル・知識が十分にあるか/ツアー催行中に予想される事故や怪我に適切な医療品等が用意されているか/外国人の利用に対応できる豊富なサイズのギアやウェアの貸し出しの可否/悪天候時の代替案の有無/MIC及び免責事項に関し英語の説明資料が

用意されているか/自己や災害発生時に英語で対応方法の説明や指示ができるか/英語で自然歴史、見所等を説明できるか

### 催行コース確定に至るまでの ATTA との主な協議項目

- ・ シンプルなツアータイトル（アクティビティと地域を明確にしたタイトルとする）
- ・ ストーリーに合致したアクティビティであることをしっかり説明する
- ・ 十分なアクティビティ情報の記載（所要時間、難易度、移動距離、ギアのサイズ など）
- ・ 食事内容の記載（具体的な食事内容、メニュー選択の有無、特別食の対応可否の記載 など）
- ・ アクティビティ強度の補完（ハイライトとなるアクティビティの強度が足りない場合等の補正）
- ・ その他、英文日程表の英語の校正（誤った文法、不適切な表現の是正 など）

## ②DOA コース選定

デイ・オブ・アドベンチャー（DOA）においても、PSAと同様に令和2年（2020年）よりツアー選定を開始した。公募によるツアーオペレーター選定を経てコース募集を行い、ATTAより示されたツアー造成基準に従い実施コースの選定を行った。DOA選定にあたり「ストーリー」「サステナビリティ」を重点項目とするのは勿論のこと、他にも1日ツアーならではの要素として「ギア品質」「アクティビティ安全性」「雨天時の代替案」といった項目も重点要素とした上で審査及び選定を行った。

### DOA コース確定までの流れ

2020	6月	公募により DOA 取扱旅行会社（16社）を選定
	10月	DOA 募集（1次～3次審査）実行委員会にて 32 コースを選定
	12月	ATTA による DOA 32 コースの審査開始
2021	4月	ATTA により DOA 29 コースの承認
	9月	ATWS2021 にて DOA 29 コースを紹介（Digital Brochure）
2022	4月	DOA の追加募集（採択済コースより辞退が発生したため）
	6月	DOA 6 コースを追加採択
	11月	追加採択した DOA 6 コースの ATTA による審査及び承認（ATWS2023 で催行する全 DOA31 コースの確定）

### DOA コース選定時の審査項目

コースにおける地域ならではのストーリー/地域理解が深まるツアー設計か/コース上における文化施設や休憩所などの配置状況/ATTA の提唱する5つの体験価値への該当/環境への負荷を最小化するための取組/地元製品の活用や地域の雇用創出など地域経済への貢献するための工夫/ツアー商品として継続的に顧客に提供する体制の構築/個客の嗜好やスキルに応じた組み立てやオプションの設定状況/地域住民との交流など双方向性のある体験・アクティビティ/当該地域でしか体験できないユニークコンテンツ/アクティビティや体験におけるチャレンジングな要素の有無/全体の行程と

内容、必要な携行品や装備、事前に取得すべき個客情報等の整備/免責事項を適切に整理し、顧客に説明することができるか/応急処置に関するスキル・知識が十分にあるか/ツアー催行中に予想される事故や怪我に適切な医療品等が用意されているか/外国人の利用に対応できる豊富なサイズのギアやウェアの貸し出しの可否/悪天候時の代替案の有無/MIC 及び免責事項に関し英語の説明資料が用意されているか/自己や災害発生時に英語で対応方法の説明や指示ができるか/英語で自然歴史、見所等を説明できるか

### 催行コース確定に至るまでの ATTA との主な協議項目

- ・ シンプルなツアータイトル（アクティビティと地域を明確にしたタイトルとする）
- ・ 十分なアクティビティ情報の記載（所要時間、難易度、移動距離、ギアのサイズ など）
- ・ 移動手段の是正（移動時間を片道2時間程度に抑えるべく、バスから列車利用への変更 など）
- ・ 食事内容の記載（具体的な食事内容、メニュー選択の有無、特別食の対応可否の記載 など）
- ・ その他、英文日程表の英語の校正（誤った文法、不適切な表現の是正 など）

## ③メディア・バイヤー招待者選定

実行委員会では、PSA・DOAのツアー行程の審査だけでなく、招待者の審査・選定を行った。

ATTAとの契約に基づき、実行委員会が渡航費などの費用を全額負担する招待者（以下「完全招待者」という。）、PSAのみ無料で提供を受ける招待者（以下「PSA招待者」という。）のうち、メディア・バイヤーについては、ATTAの協力の下、当時のWG⑦ Hosted Delegates（（1）②参照）にて審査・選定を行った。

完全招待者・PSA招待者となることを希望するメディア・バイヤーをATWS2023のサイト上で募集したところ、メディア・バイヤー合わせ347名の応募があった。これらの候補のうちから完全招待者・PSA招待者の選定にあたっては、WG内の採点に加え、ポストサミットアドベンチャー実施自治体、道外PSA実施DMO、またJNTOの協力を得てJNTO海外事務所からも選定について意見を聴取した。

審査の結果、完全招待者として、ATTAの契約の通りメディア30名、バイヤー20名を選定した。PSA招待者については契約上に数の定めがなかったため、ATTAと協議し、完全招待者49名（メディア30名、バイヤー19名）、PSA招待者64名を選定した。

## (3) ATTAとの調整

令和4年（2022年）4月よりATWS2023に向け、ATTAと定期的なオンラインミーティングを行い、進捗状況の確認や開催についての意見交換を行った。以降、ATWS2022までは月1回、ATWS2022後は月2回、ATWS2023開催の直前は毎週と徐々に頻度を上げ、細やかな情報共有に努めた。

また、同年10月にはスイス・ルガーノで開催されたATWS2022に参加し、実行委員会幹部とATTA幹部との意見交換、ATWS2023に向けた北海道のアピール等を行った。

さらに、翌月11月にはATTAが「Site Visit」として札幌を訪れ、ATWS2023の会場やレセプション会場の候補地等を視察し、開催時の対応方針を検討した。

## ①ATWS2022 視察（スイス・ルガーノ）

令和4年（2022年）10月3日（月）～6日（木）、スイス・ルガーノで開催された ATWS2022 において、大会運営の視察や ATTA との意見交換を行うとともに、クロージングセッションで ATWS2023 が日本で開催されることを PR した。



Japan Lounge での PR



ATTA との幹部ミーティング



クロージングでの PR・ハンドオフ

## ②Site Visit

令和4年（2022年）11月8日（火）～12日（土）実施。ATTA から、ケーシー・ハニスコ President、ハンナ・ピアソン アジア・太平洋地域ディレクター、ウェズレイ・ジューグラール Senior Manager Events、國谷 裕紀 Business Manager for Asia の4名が来訪した。

ATTA 4名と実行委員会は、大会会場、新千歳空港から札幌まで及び札幌市内から会場へのアクセス、チェックインや DOA 集合場所、レセプション会場候補地、招待者が宿泊するホテル等を視察し、対応方針や課題について整理した。

北海道らしさを演出するレセプション会場として大倉山はどうかという提案や、北海道らしい食事の提供について助言を受けた。

